

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-542093(P2013-542093A)

【公表日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-063

【出願番号】特願2013-525944(P2013-525944)

【国際特許分類】

<i>B 4 1 M</i>	5/00	(2006.01)
<i>B 4 1 M</i>	5/50	(2006.01)
<i>B 4 1 M</i>	5/52	(2006.01)
<i>B 4 1 J</i>	2/01	(2006.01)
<i>B 0 5 D</i>	5/04	(2006.01)
<i>B 0 5 D</i>	1/26	(2006.01)

【F I】

<i>B 4 1 M</i>	5/00	B
<i>B 4 1 J</i>	3/04	1 0 1 Y
<i>B 0 5 D</i>	5/04	
<i>B 0 5 D</i>	1/26	Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月27日(2014.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明な基材に少なくとも1つの下地層コーティングミックスを塗布して透明な基材上に配置される少なくとも1つの下地層を形成し、前記コーティングミックスはゼラチン及び少なくとも1つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体を含むこと、

少なくとも1つの下地層に少なくとも1つの受像層コーティングミックスを塗布して少なくとも1つの下地層上に配置される少なくとも1つの受像層を形成し、前記受像コーティング層は少なくとも1つの水溶性又は水分散性のポリマと少なくとも1種の無機粒子と少なくとも1つの界面活性剤を含むこと、

衝突風乾を用いて少なくとも1つの受像層を乾燥させ、透明なインクジェット記録フィルムを形成することと、

を含み、

下地層コーティングミックスにおけるゼラチンと少なくとも1つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体の比は、重量で約20:80~約1:1の間であり、さらに、下地層コーティングミックスは少なくとも約4重量%の固形物を含み、さらに、少なくとも1種の無機粒子と少なくとも1つの水溶性又は水分散性のポリマの比は重量で約90:10~約95:5の間である方法。

【請求項2】

下地層コーティングミックスにおけるゼラチンと少なくとも1つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体の比が、重量で約0.45:1である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも1つの下地層コーティングミックスが少なくとも約9.2重量%の固形物を

含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体がホウ砂を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの水溶性又は水分散性のポリマがポリ(ビニルアルコール)を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

少なくとも 1 種の無機粒子がベーマイトアルミナを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも 1 種の無機粒子と少なくとも 1 つの水溶性ポリマの比が重量で約 92 : 8 である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

受像層コーティングミックスが少なくとも約 26 重量 % の固体物を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

受像層が、少なくとも約 40 g / m² のコーティング重量を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 の方法に従って製造される透明なインクジェット記録フィルム。